



# 第4回定例会 [会期9月17日～9月28日]

## 平成 4 年第 4 回小浜市議会定例会が 9 月 17 日に招集され、会期を 9 月 28 日までの 12 日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会では、平成三年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定などの認定案件十三件、平成四年度小浜市一般会計補正予算(第二号)などの議案二十件が上程されました。

初日の十七日は、まず認定案件十三件について、提案理由の説明、質疑が行われ、この後、決算特別委員会を設置し、委員会付託としました。(決算特別委員会の構成は別記のとおり)

引き続き、平成四年度小浜市一般会計補正予算(第二号)など議案十三件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託して散会しました。

翌十八日から二十日までを休会とし、二十一日に本会議を再開して、六名の議員が市

政全般にわたり一般質問を行いました。

(一般質問ハイライトは別記のとおり)

二十二日から二十七日までを休会とし、二十八日に本会議を再開。

はじめに、認定案件十三件について、委員長の申し出により閉会中の継続審査と決定し、続いて総務、建設、産業経済、教育民生の各常任委員長から、付託議案の審査経過結果を報告しました。

各委員長報告に対する質疑、討論、採決を行い、原案のとおり可決しました。

引き続き、総務常任委員長から「国民の祝日『海の日』制定を求める意見書」、建設常任委員長から「第十一次道路整備五箇年計画の財源確保

に関する意見書」、産業経済常任委員長から、「農業農村整備事業促進に関する意見書」がそれぞれ提出され、質疑、討論、採決の結果可決し、関係機関に意見書を提出することとなりました。

この後、平成四年度小浜市一般会計補正予算(第三号)のほか議案四件が上程され、提案理由説明、質疑、採決を行い、原案のとおり可決しました。

最後に、助役の選任ならびに教育委員会委員の任命の人事案件三件が提出され、採決の結果、全会一致で同意しました。

これをもって、付議された事件を全て議了し、平成四年度第四回小浜市議会定例会を閉会しました。

会 期 日 程	
17日	本会議 会期決定、決算認定上程、 質疑、付託、議案上程、 質疑、付託
18日	休会
20日	
21日	本会議 (一般質問)
22日	休 会 (委員会審査)
27日	
28日	本会議 閉会中の継続審査、 各常任委員長報告、 質疑、討論、採決 意見書案(3号～5号) 説明、質疑、討論、採決 議案上程、質疑、採決 人事案件上程、採決

# 一般質問 ハイライト

9月定例会の一般質問は、9月21日に行われ、岡本議員、宮崎議員、新谷議員、小川議員、杓子議員、深谷議員の6議員が、市政各般にわたり質問を行いました。

(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

## つばき

**Q** ふるさと創生事業における新しいシンボルとして、「つばき」が印象付けられているが、本市には既に「市の木」、「市の花」が制定されており、これらの関連性について伺いたい。

**A** 本市の地域特性を生かすし、「若狭小浜二一観光ビジョン」に沿って、「ふるさと創生一〇か年計画」を樹立した。

「つばき」は、八百比丘尼がよなく愛したということで、伝説をモチーフにしたまちづくりの一環としてとらえている。

また、「もみじ」、「つつじ」は市の木、市の花として公募されたものであり、今後とも従前どおり普及していく。

## 噴水時計

**Q** ふるさと創生一億円事業において、アイデア募集により噴水と花時計が入選した。

その後、八百比丘尼サミットなど事業が進められる中で、噴水と花時計の事業が着手されずにきたことは、市幹部の良識ある判断と想っていた。ところが、六月議会や市政

## 決算特別委員会 委員

平成3年度

〔一般会計・特別会計  
企業会計 決算審査〕

委員長

均

副委員長

明

委員

保司雄彦

高正和

野谷尾

石宮岡

橋崎

宇蔵男

### 議案及び結果

議案番号	件名	提出者	審議結果
認定第1号	平成3年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第2号	平成3年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第3号	平成3年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第4号	平成3年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第5号	平成3年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第6号	平成3年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第7号	平成3年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第8号	平成3年度小浜市南川地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第9号	平成3年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第10号	平成3年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第11号	平成3年度小浜市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第12号	平成3年度小浜市国民宿舎及び小浜ユース・ホステル事業会計決算の認定について	市長	継続審査

広報等によると、これから取り組むとしている。

日本一の花時計や噴水を造るのに、一億円では到底できない。

理事者は、勇気を持って取り止めるか、大幅に縮少し、市民生活に密着した事業に市費を投ずるべきだと思いがどうか。

**A** 広く市民からアイデアを募集し、金賞に選ばれたアイデアを無視することは、政治信条である「市民に開かれた市政」に合い入れないものであると考えている。

ふるさと創生一〇か年計画で、海のゾーンとしてマーマイドテラス、噴水時計、マウインドアップを整備することとしており、噴水時計の取り止めは、海のゾーンの整備を否定することになる。

また、小浜ロジ前海岸の漁業補償、県の海岸環境整備事業など、総合的に検討すると、現時点において取り止め

ることは困難である。

ただ、形状や事業費の規模等については、今後十分研究していきたい。

### 水産研究施設

**Q** 水産業の振興のため、現在、栽培漁業センターや水産高校において、水産資源確保の取り組みが行われている。

来春、県立大学が開校することになるが、本市においてこれを契機に、独自の栽培センターを持つ考えはないか。

**A** 県立大学の海洋生物資源学は、本地域の特性を十分に生かした学科であり、水産振興に多大の影響を与えるものと思われる。

ただ、本市独自の研究機関の設置については、当面は既存の国、県の施設の充実、あるいは誘致等を働きかけていきたい。

## 人事

[助役]

平尾 正行氏

[教育委員会委員]

齊藤 清輝氏

高石 昭五氏

### 議 案 及 び 結 果

議案番号	議案内容及び結果	議長	原案可決
認定第13号	平成3年度小浜市水道事業会計決算の認定について	〃	〃
議案第71号	平成4年度小浜市一般会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第72号	平成4年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第73号	平成4年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第74号	平成4年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第75号	平成4年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第76号	平成4年度小浜市水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第77号	平成3年度小浜市国民宿舍及び小浜ユース・ホテル事業会計決算にかかる剰余金の処分について	〃	〃
議案第78号	平成3年度小浜市水道事業会計決算にかかる剰余金の処分について	〃	〃
議案第79号	小浜市の休日定める条例及び小浜市職員の勤務時間に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第80号	小浜市退隠料等条例等の一部改正について	〃	〃
議案第81号	小浜市の公の施設の使用条例の一部改正について	〃	〃
議案第82号	小浜市水道事業給水条例の一部改正について	〃	〃
議案第83号	小浜漁港区域内の公有水面埋立について	〃	〃
意見書案 第3号	国民の祝日「海の日」制定を求める意見書について	議員	〃
意見書案 第4号	第11次道路整備5箇年計画の財源確保に関する意見書について	〃	〃
意見書案 第5号	農業農村整備事業促進に関する意見書について	〃	〃
議案第84号	平成4年度小浜市一般会計補正予算(第3号)	市長	〃
議案第85号	平成4年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第86号	平成4年度小浜市農業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第87号	財産の取得について	〃	〃
議案第88号	助役の選任について	〃	〃
議案第89号	教育委員会委員の任命について	〃	〃
議案第90号	教育委員会委員の任命について	〃	〃